

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2016-93612(P2016-93612A)

【公開日】平成28年5月26日(2016.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2016-032

【出願番号】特願2016-24319(P2016-24319)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月15日(2016.4.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技媒体が流下する遊技領域を有する遊技板と、

前記遊技板の所定部位に設けられ、遊技媒体が通過可能な通路を形成する透過性を有した通路部と、前記通路の少なくとも一部を遊技者に視認可能にする視認部位を有した態様で前記通路の前側を装飾する部分装飾部と、を有する第一装飾手段と、

前記遊技板の後方に設けられ、前記第一装飾手段の後方の待機位置と、前記待機位置から移動した演出位置との間を移動可能な第二装飾手段と、

を備え、

前記視認部位を介して視認可能な前記通路の後方の所定位置を前記待機位置として前記第二装飾手段が配置されることによって、前記待機位置における前記第二装飾手段は、前記演出位置にて視認可能となる装飾のうちの一部分が、前記視認部位及び前記通路を介して遊技者から視認可能にされ、

さらに、前記第二装飾手段は、前記待機位置にて前記視認部位を介して視認可能とされる装飾とは別の附加装飾部を有しており、該附加装飾部は、前記第二装飾手段の前記待機位置から前記演出位置への移動開始後に所定の動作を行うように構成されてなる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

また、特許文献1に示すように、機械的に移動可能な装飾体を備え、装飾体の動きによる演出を行うことで、遊技者の興奮を一層高めるようにした遊技機も知られている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかし、従来と同様の構成の遊技盤では、遊技興趣の更なる向上が困難となっていた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、上記の実状に鑑み、新たな構成の遊技盤で遊技興趣の更なる向上を図ることが可能な遊技機の提供を課題とするものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、

遊技媒体が流下する遊技領域を有する遊技板と、

前記遊技板の所定部位に設けられ、遊技媒体が通過可能な通路を形成する透過性を有した通路部と、前記通路の少なくとも一部を遊技者に視認可能にする視認部位を有した態様で前記通路の前側を装飾する部分装飾部と、を有する第一装飾手段と、

前記遊技板の後方に設けられ、前記第一装飾手段の後方の待機位置と、前記待機位置から移動した演出位置との間を移動可能な第二装飾手段と、

を備え、

前記視認部位を介して視認可能な前記通路の後方の所定位置を前記待機位置として前記第二装飾手段が配置されることによって、前記待機位置における前記第二装飾手段は、前記演出位置にて視認可能となる装飾のうちの一部分が、前記視認部位及び前記通路を介して遊技者から視認可能にされ、

さらに、前記第二装飾手段は、前記待機位置にて前記視認部位を介して視認可能とされる装飾とは別の付加装飾部を有しており、該付加装飾部は、前記第二装飾手段の前記待機位置から前記演出位置への移動開始後に所定の動作を行うように構成されてなることを特徴とする。

また、本発明とは別の参考発明として、以下の手段を例示する。

手段1：「所定方向に摺動可能に支持された可動ベースユニットと、

該可動ベースユニットに配設され、該可動ベースユニットに対して前記所定方向と同一方向に摺動可能であって、付加装飾体を備えた可動装飾部と、

前記可動ベースユニットの外部に配設された駆動源と、

該駆動源による第一の駆動力を前記可動ベースユニットに伝達し、該可動ベースユニットを前記所定方向に移動させる第一伝達機構と、

前記可動ベースユニットに配設され、前記第一伝達機構による該可動ベースユニットの移動に応じて第二の駆動力を発生する駆動力発生機構と、

該駆動力発生機構によって発生した第二の駆動力を前記可動装飾部に伝達し、該可動装飾部を、前記第一伝達機構によって前記可動ベースユニットが移動する前記所定方向と同一方向に、前記可動ベースユニット上でさらに移動させる第二伝達機構と、を備え、

前記可動装飾部に備えられた前記付加装飾体は、前記第二伝達機構が所定位置に移動したことに基づいて変位可能に構成されている」ことを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0070

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0070】

このように、本発明によれば、遊技興趣の更なる向上を図ることができる。